

エコ・あぐり・タウン くねっぷ 応援団だより

平成28年8月25日発行 NO.43

訓子府町の「ふるさと応援団」にご参加いただき、ありがとうございます。
みなさまと訓子府町を結び便りにできればと考えております。

開基120年記念 町民運動会開催



訓子府町開基120年記念事業として「町民運動会」が24年ぶりに復活し、6月19日に訓子府小学校グラウンドで開催されました。当日は町民約1,000人が参加し、地区毎に12のチームが構成され「大綱引き」や「チーム対抗大リレー」など12種目を競いました。

参加された町民の皆さんはチームで協力しながら、各種目に全力で挑み、会場からは選手の活躍に大きな歓声と拍手が送られていました。

町内全地区が集い、まさに町民が一体となった一日でした。

盛り上がりを見せる開基120年事業

明治30年5月8日、高知県人13戸45人が、居武士地区に入植され開拓の鋤が打ち下ろされてから120年の節目の年を迎えました。今年は多くの記念事業が開催されておりますが町民アンケートで多くの開催希望が寄せられた「町民運動会復活」と「北海道日本ハムファイターズとの交流」も盛会裏に終えることができました。

1,000人を超える町民が集い交流した町民運動会、大リレーで肉離れをおこした選手が続出したものの閉会式では万歳三唱、「是非毎年開催してほしい」等々の声が寄せられています。また160人の応募者の中から北海道日本ハム応援ツアーに無料招待、厳正な抽選を経て幸運を勝ち取った80名の町民は7月24日、札幌ドームで開催されたオリックス戦を観戦しました。試合開始前には本町交流大使の矢野謙次選手、谷口雄也選手との記念撮影が行われ、手作りの横断幕を掲げ握手攻めに、満面の笑顔で応援メッセージを送っていました。



11月1日には開基120年記念式典が挙行されます。大正生まれの町内在住50年以上の方への感謝状贈呈を始め、東京訓子府倶楽部や札幌くねっぷ会の歴代会長、顧問の方々、姉妹町・高知県津野町からの来賓など、大勢のご臨席を賜り開催されます。そして、11月18日から21日まで3泊4日で津野町を訪問し、両町民交流をはじめ、日本一の清流四万十川源流や天誅組・吉村寅太郎の生家を訪ねます。また、ふるさと祭りで町民から絶賛の拍手が送られた津野山古式神楽を堪能させていただきます。先着順の事前募集には受付開始の2時間も前から申込者が並び、瞬く間に募集を締め切ることになりました。その他にも数多くの主催事業や協賛事業が行われていますが、町民みんなで開基120年を盛大に祝っています。

訓子府小学校のシンボル「^{にれ}楡」の樹が倒れ、涙の倒木



8月17日に上陸した台風7号にともない強雨と暴風に見舞われ、午後8時過ぎパトロール中の町職員が無残にも縦に切り裂かれ倒れた楡の樹を発見しました。翌朝、議会をはじめ教育委員や学校関係者が集まり、その日のうちに伐採を決めました。この楡の木は推定で樹齢300年に及ぶ天空を望む巨木でしたが、多くの子ども達の成長を見つめながら歩み続けてきました。卒業文集や記念誌、子ども達の作品にも度々掲載されてきた思い出多い楡の樹です。何度も樹木医の診断を受け治療を施してきましたが、開基120年の年に安全第一を優先し処分させていただきました。

北海道常呂郡訓子府町東町398番地 訓子府町役場企画財政課
Tel 0157-47-2115 Fax 0157-47-2600
E-mail kikaku@town.kunneppu.hokkaido.jp
URL <http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>

町長's Eye



くんねっぷふるさとまつり開催

訓子府町の夏を彩る「第37回くんねっぷふるさとまつり」が、7月9日と10日、中心街と常呂川河川敷で開かれました。

前夜祭の9日は、太鼓演奏や訓子府音頭、キッズダンス、行灯パレード、花火などが行われ、本祭の10日には、歌手の「八代亜紀」やお笑い芸人の「どぶろっく」などの歌と笑いのステージや牛乳ロールなどのイベントが会場を盛り上げていました。



町開基120年記念事業の一つとして、姉妹町である高知県津野町から招いた「津野山古式神楽保存会」の一行による、「津野山古式神楽」が前夜祭と本祭で披露され、まつりに花を添えました。

2日間で町内外から延べ1万4,000人が訪れ、夏のひとときを楽しみました。



いっこく堂スーパーライブ開催

開基120年記念事業の一つとして「いっこく堂スーパーライブ」が6月21日に町公民館で開催されました。

ライブは昼の部と夜の部があり、昼の部には主に町内の小中学生と訓子府高校の生徒を招待し、夜の部には町内外から多くの方が訪れ、会場は満員になりました。

ライブ前、いっこく堂さんは「訓子府町の人たちが歓迎してくれて感動した。のどかで良い町ですね。皆さんに喜んでもらえるようなライブができるようがんばります」と意気込みを話してくれました。



ステージでは、人形との腹話術や歌手のものまね腹話術などが披露され、客席からは大きな歓声が上がっていました。

また「こんにちは」という言葉で簡単な腹話術を教えてもらうなど客席が一つになって、大いに盛り上がりました。



団の力を発揮～消防演習～

北見地区消防組合訓子府消防団消防演習が6月11日、訓子府小学校グラウンド周辺で開催され、団員85人、消防車両11台が参加しました。

小隊訓練や消防操法、高所放水中継訓練のほか模擬火災訓練、分列行進など日ごろの訓練の成果を披露しました。また、開基120年と認定こども園の開園を記念して、認定こども園わくわく幼年消防クラブによるミニ消防車放水訓練も行われ、保護者の見守り中、一生懸命、的に向かって放水訓練を行いました。分列行進では、訓子府スクールバンドの演奏により、団員たちは威風堂々たる行進を町民に披露していました。



こども園にやってきた B・BとQooとあそんだよ

北海道日本ハムファイターズの「B・B」とコカ・コーラの「Qoo」が7月4日、認定こども園にやって来ました。

この企画は、北海道日本ハムファイターズとコカ・コーラが地域密着と社会貢献をめざし、全道の幼稚園や保育園などを訪問し、子どもたちと触れ合うイベントです。



園児たちはB・Bによる「さんぽ」のピアノ演奏に合わせ、歌ったり、B・BとQooとの「ちゃんとたべよう体操」「野球体験コーナー」などの催しを楽しんでいました。

また、触れ合いタイムとして記念撮影や握手、ハグなどを行い、B・BやQooの迫力に泣き出してしまふ園児もいましたが、貴重な時間を過ごし、最後は笑顔で見送っていました。



「早く大きくなってね」 園児と河川愛護の会がヤマベ放流



こども園児46人が参加して、オホーツク河川愛護の会のヤマベ稚魚放流が6月3日に常呂川の叶橋下流で行われました。

オホーツク管内の河川工事などに関係する企業で構成する「河川愛護の会」は、きれいな河川を守り、溪流釣りなど河川と親しむことができる環境づくりを推進しています。

この日は、会員ら約30人が参加し、園児とともにヤマベの稚魚1万匹を放流しました。園児たちは、大きな川で泳ぎ始めたヤマベの稚魚に向かって「早く大きくなってね」と呼びかけていました。

訓青協全国大会出場権獲得

訓子府町青年団体連絡協議会が5月28日・29日に札幌市で行われた第44回北海道青年祭兼第65回全国青年大会予選会に出場しました。

この大会は、青年の創意と活動を集結して地域の人々に青年の意気を示すものとして開かれています。

訓青協は発表部門に出場し、合唱・舞台パフォーマンスのどじまん(1人)で最優秀賞を獲得し、全国大会への切符を手に入れました。

全国大会は11月12日から江戸川区総合文化ホールで開かれます。



訓子府町ふるさとおもいやり寄付制度に皆さまから多くのご寄付をいただきました

■平成27年度の実績（平成27年4月～平成28年3月）

●地域別寄付件数

寄付者の居住地域	寄付者数
北海道外	1,652
北海道内	83
（うち訓子府町内）	（14）
計	1,735

●事業別寄付件数

事業の区分	寄付口数	寄付金額
1. 安心して暮らせるふるさとづくり事業	511	9,214,000 円
2. 元気な人を育てるふるさとづくり事業	388	6,775,001 円
3. 豊かな環境と資源を活かしたふるさとづくり事業	585	11,554,000 円
4. その他、特色あるふるさとづくりに関する事業	255	3,990,000 円
計	1,739	31,533,001 円

●基金の状況

区 分	当 初	積 立 額	活用（取崩）額	年度末保有額
寄 付 金	3,354 千円	31,533 千円	730 千 円	34,157 千円
利 子	-	1 千円	-	1 千円
計	3,354 千円	31,534 千円	730 千 円	34,158 千円

●年度別寄付件数等内訳

年 度	寄付件数	寄付金額
平成23年度	15	1,270,000 円
平成24年度	16	860,000 円
平成25年度	27	2,020,000 円
平成26年度	18	840,000 円
平成27年度	1,735	31,533,001 円
計	1,811	36,523,001 円

寄付金は幅広く有効活用させていただきました

◆元気な人を育てる事業

- ①子ども劇場開催事業 650,000 円
- ②訓子府小学校スクールバンド楽器購入事業 80,000 円

寄付者名公表について

ご寄付をいただいた方の公表については、訓子府町ホームページをご覧ください。

担当変更のお知らせ

本号から柴田に代わりまして竹内が応援団便りを担当させていただきます。
姉妹町である高知県津野町より人事交流職員として企画財政課企画係に配属されております。
訓子府町の魅力を皆さまにお伝えできるよう一生懸命がんばりますので、前任の柴田同様よろしく願います。
みなさまのご意見ご要望をお待ちしております。